

令和元年度 精神保健福祉部会 記録

令和2年1月17日(金)

9:00~12:00

リハセンター2F AV会議室

出席者：障害者地域生活支援センターほっと、高松市保健センター、地域活動支援センタークリマ、訪問看護ステーションビートかがわ、ピアサポーター、相談支援事業所 EVEN、香川県障害福祉課、東讃保健福祉事務所、大西病院、いわき病院、高松市障害福祉課、訪問看護ステーションデューン高松、ライブサポートセンター、むつみ会、三光病院、相談支援事業所 AERU、相談支援事業所 We、東かがわ市、相談支援センター白鳥、さぬき市、高松市障がい者基幹相談支援センター

1. 継続して協議する項目 9:00~9:40

(1) 情報共有・PRについて

- ・精神科病院入院中の方から退院をしたいというご希望を聞いた。どういう風に退院を進めていったらいいか。
また、他に希望を聞いた方がいないか共有し、必要に応じて部会内で検討をしていく。
- ・京都の ACT でご活躍され、現在相談支援専門員をされている方を講師としてお迎えし、地移行支援、ACT との連携、病院との連携について講演をします。
日時：2月22日(土) 13時30分~たまも園2階
- ・令和元年度精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業に係る意見交換会について
日時：令和2年2月7日(金) 14:00~16:30
場所：かがわ総合リハビリテーションセンター第一研修室
- ・第68回精神保健福祉業務従事者研修会の開催について
日時：令和2年3月3日(火)
会場：サン・イレブン高松 4階 大ホール
対象者：精神医療・精神保健福祉業務従事者、関係者等
演題「精神疾患と糖尿病」
- ・ピアサポーター専門員フォローアップ研修に参加をされた報告がありました。
何のために働くか、働き続けるための工夫や、ピアサポーターを発信していくための工夫、精神障害の方がなぜ太るか(脳の石灰化を修復するため)についての仕組み、リハビリをした原点は何か。について学ぶ機会となったと報告がありました。
- ・大川圏域自立支援協議会精神保健福祉部会準備会について
2か月に一度、大川圏域の市と相談支援事業所3事業所と、支援センタークリマ、東讃保健所で検討をしていき、どのように立ち上げていくか協議をしていく。
- ・みんなねっと四国ブロック in 香川大会
日時：2020年2月25日(火)~2月26日(水)

場所：坂出グランドホテル

テーマ「精神障害者と家族が笑顔で当たりまえの生活出来る地域の実現を目指して」

- ・避難行動要支援者名簿の登録について

高松市役所のホームページや、自立支援協議会のホームページからリンクできるようにしている。支援者 2 名が見つからないときは基幹相談支援センターに連絡を頂き、つないでいくことは可能。

- ・中讃東圏域に障害者雇用の会社ができる予定。

(2) 元年度部会の取り組み・企画について

①GSV・事例検討

→次回について、必要に応じて開催予定

②企画：医療と福祉の支援者の連携・交流企画

日時：2月12日（水）13：30～16：30

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター2階 第1.2研修室

対象：行政関係者、高松圏域の相談支援専門員、精神科医療機関、訪問看護ステーション

- ・グループワークを中心に実施する。対象者を限定して行う予定。
- ・2月5日10時竜雲メンタルクリニックにて最終的な打ち合わせを行う。

(3) 精神障がい者スーパーバイザー派遣事業について

①予定

3月13日 大樹福祉会 職員研修

2月 小豆圏域自立心協議会精神部会

2月19日 東讃保健福祉事務所 地域移行支援に関する学習会

3月6日 中讃西圏域自立支援協議会精神保健福祉部会

2. 協議内容を決めたうえで、取り組む項目 9：40～10：30

(1) ピアサポ活動の場・機会拡充及び研修の在り方検討WG報告

- ・令和2年1月9日開催 第1回ピアサポーター企画会議について報告。

現在までの活動や研修の取り組み、今年度の活動について報告し、アンケート集計を行ったことで出てきた課題を共有。

今後の取り組みについて意見を出し合う。

主に、広く周知をする方法、具体的にイメージがわくための取り組み、研修について意見を出し合い、2月の企画会議にて、3月の報告会の内容や、取り組みの優先順位を具体的に決めていく。

第2回企画会議：令和2年2月19日（水）15：00～17：00

場所：高松合同庁舎4階第2会議室

- ・報酬について、具体的に取り決めを行っていく必要がある。検討中の予算について。

謝金を払ってもらえるようピアサポーターの有効性を伝えていく取り組みも必要との意見が出る。

- ・ピアサポーターの方を中心に企画会議を進めていくための工夫。最初は丁寧に事前の打ち合わせを行い、徐々に慣れていただけたらいいのではないかな。

(2) 家族支援の在り方検討 WG 報告

- ・3月9日(月) 13:30～むつみ会の家族会に部会員が見学に行く。
- ・今後の方向性について、家族への働きかけは必要であり、今後も家族会などの有効性を伝えていくため、定期的に情報発信をしていく必要がある。WGという形ではなく、精神保健福祉部会の中で家族支援についての項目を入れ、情報共有していく。

(3) 65歳以上の精神障がい者の地域移行支援事業を推進するための WG

(令和2年度立ち上げの可否)

- ・障害福祉から介護保険に移行する際、相談支援専門員とケアマネージャーが連携をした方が本人にとっての利益となる。
- ・65歳以上というところで急に具体的に決められないということがある。
- ・まずは、障害福祉が何に困っているのかを明確にして、介護保険分野と連携ができたらいいのではないかと意見があり、アンケート調査を実施し課題を出し、2月7日の地域包括ケアシステム構築支援事業に係る意見交換会にて検討していく。

3. 精神科病院からの地域移行に関する項目 10:30～11:10

(1) 精神科病院内 WG 実施状況の報告がありました。

(2) 精神科病院長期入院者の訪問面接について

①訪問面接方法の確認を行いました。

②訪問面接の報告

- ・訪問面接を行うことで、内部の職員の意識改革にもつながっている。職員のモチベーションも上がっている。

(3) 地域移行支援対象者の動向

- ・マトリックスのみでの判断は難しい。働きかけを行うことで地域移行に乗せられる可能性のある方や、継続面接の必要性を感じた方などその都度動きがあれば報告をしていく。
- ・地域移行支援を利用して退院をされた方も、必ずしもA群からの退院とは限らない。

(4) その他、報告や検討事項

4. 地域移行支援事業利用予定者及び利用者に関する検討

5. 次回の予定

日時：令和2年2月21日(金) 9:00～12:00

場所：かがわりハビリテーションセンター 福祉センター2階 AV会議室